



発行責任者  
**たおだ英伸**  
和泉市のぞみ野  
2-1-27-615  
TEL  
090-9272-6029



和泉市議会議員

# たおだ英伸

E-mail : [kansai-genki@gaia.eonet.ne.jp](mailto:kansai-genki@gaia.eonet.ne.jp)

皆様、こんにちは！和泉市議会議員・**たおだ英伸**です。小さな声にお応えすべく一生懸命走り抜いて、多くの進展・解決・実現をすることが出来ています。

相談者様・町会関係者様・市職員様・施行(施工)者様のご協力ありての実績に感謝です。今回は『ウクライナの日本への避難を願っていた方々の渡航のお手伝いの実現』を報告します。

## ウクライナからの救出劇をお手伝いさせて頂きました！

### ～8000kmに思いをはせて！生きて会えてよかった！～

私のもとに、一人の市民の方からSOSが届きました。

相談内容は『知人の和泉市在住男性の奥さんはウクライナ出身。ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、毎日泣いてばかりで精神的に衰弱されている。親族を日本に避難させたいという願望をお持ちで、ウクライナにいる親族もそれを希望されているが、何をどうしていいか分からなくて困っている。いつも交差点であいさつ立ちしているタオダ議員に力を貸してほしい』という内容でした。

戦況が日々変化する中、スピードが大事との思いで、すぐに訪問と聞き取り、その1時間後には、公明党・**石川ひろたか**参議院議員に要望書と現地の3人の親族のパスポートの写真などを送信。そして、夕方には石川議員より再度電話があり「外務省からポーランドの日本大使館に連絡をして、準備を開始します」と連絡がありました。翌日の4月15日には石川議員より「日本行きの飛行機の席が確保でき、外務省関係者より、ご主人と打ち合わせを開始します」と連絡がありました。

依頼主はあまりにも早く進む展開に驚かされていました。

国の中心を担う石川議員と現場最前線の市会議員の私の連携プレー！これが公明党の真骨頂です！

現地ウクライナの親族は急展開に驚き、喜びつつも少しパニックになったりして、連絡の行き違いもありましたが、ウクライナとポーランドの国境越えることが出来ました。

そして4月26日に成田空港を経由し、関西空港での再会が実現しました。関西空港到着口での再開のその場に田中さんと私も立ち会いさせて頂きました。

今回の田中さんからの相談第一報から再会までのこの12日間の救出劇で《新たな家族》が出来た気持ちで込み上げるものがありました。

依頼主のご主人は「タオダさんに相談するのがあと2日遅かったらウクライナから出国できなかった。タオダさん・石川さん、本当にありがとう！」

と、もったいなくも感謝の御言葉を頂戴しました。このご家族を生涯、全面支援して参ります。



ウクライナ人家族の喜びの再会を見守る石川氏（右から2人目）と埴田市議（右端）ら＝26日 関西国際空港



本当に頑張ったね——。大阪府和泉市在住の( )とウクライナ人の( )の夫妻は26日深夜、関西国際空港でウクライナから避難してきた姉と、その子どもたちを出迎え、再会を喜び合った。避難を強力に支援してきた公明党の石川ひろたか・ウクライナ避難民支援対策本部事務局長（参院議員）と埴田英伸市議らが、その様子を温かく見守った。

ウクライナから避難

再会シーンや  
詳しい内容は  
右のQRコードを  
読み取って下さい



# 石川ひろたか参議院議員と私の12年間の物語

～私の人生に影響を与えた偉大な先輩・世界を包む慈愛の生きざま～

**交差点で見かける私の姿に石川ひろたかを感じて下さい**

私は介護事業アドバイザーとして全国1600軒の施設の改善を達成し、ありがたくも全国で「介護事業運営・たおだ理論」と名付けて頂いた。

『未熟で若輩者だが、全国で培った経験を和泉市のために活かし、目の前の一人のために、お役に立ちたい』との決意でアドバイザーを引退し、一昨年の市議会議員選挙において、皆様のおかげで初当選させて頂いた。

『自身の名声や名誉よりも大切なことのために生きていきたい』そう思うようになったのは、石川先輩の姿を12年間、見続けてきたからだ。

石川さんは外務省アラビア語通訳として天皇陛下や総理大臣の通訳も務めた。

イラクやシリアに着任し戦火で全滅した学校・病院の修復、浄水の整備などの人道復興支援に貢献。

レバノン危機では国連政策担当者として停戦に尽力し平和外交の最前線で活躍した。ご自身の名誉や名声をかえりみずに帰国され、『今こそ自分を育ててくれた大阪のために立ち上がる時』と翌年より参議院議員に。そんな中、私は石川さんと出会った。

1歳年上の模範の闘士に何度も感動させられた。

幾度と語り合う中で、2011年のシリア内戦の時には、かつて共に復興を進めたイラク・シリアの人たちを思い出しながら涙ぐまれていた時は、思わずもらい泣きをした。

『今ここで人のために生き、その福德を全部その戦火の人たちに届ける思いをもって一期一会で前進あるのみだ』と大阪中、日本中を駆けめぐり、小さな取り組みから大きな政策まで数えきれない実績を積み上げた。和泉市のためにも動いてくれた。

『世界を見つめて、その場で戦う、俺もこんなスゴイ生き方を貫く人間になる』と心に誓った。私が石川さんを模範にしている4つのこと……



平和の外交官時代

『感謝の心から出る謙虚さ』 『迅速な行動』

『ほとばしる情熱』 『魂から湧き上がる慈愛』

ある時は小学2年生の小さな意見を真剣に聴き、国政に生かそうとメモをとる姿に感動した

この偉大な先輩と同じ魂と情熱と行動で私は和泉市議会議員として走り回っています！

敬愛する和泉市の皆様！

交差点で見かける私の姿に

**石川ひろたか**

を感じて下さい！



私の選挙の時には駆けつけて自宅で渾身の激励を下さりました

和泉に思いやりの和を広げます 和泉市議会議員・たおだ英伸

 YouTube

『たおだ英伸』で検索



QRコード読み取り

毎朝(土日は昼間)6ヶ所の交差点のどこかで皆様の声を聞いて意見を集めるために**本人**タスキをつけて立っています